

『社会を明るくするために』

小城市立小城中学校2年 白濱 汰基

最近、テレビのニュース番組で「犯罪」というタイトルが使われることが多くなりました。僕は、そのニュースを見て、とても悲しい気持ちになりました。なぜなら、犯罪が起こると必ずだれかが、いやな気持ちになったり、悲しい気持ちになるからです。そんな世の中の犯罪をなくすための方法はたくさんあります。僕は、その中の三つの方法について考えました。

一つ目は、自分がしようとしていることが、して良いことなのか、してはいけないことかを考えて行動することです。なぜなら、して良いことなのか、してはいけないことなのかを考えて行動することで、自分の間違いに気づき、少しでも犯罪をなくすことにつながると思うからです。また、それに伴って犯罪で、いやな気持ちになったり、悲しい気持ちになったりする人も減ると思います。行動を起こすからは、おそいと思います。なので行動を起こす前に考えて、少しでも犯罪をなくすようにしていくことが、大切だと思います。

二つ目は、相手の気持ちを考えることです。なぜなら、相手の気持ちを考えることで、これから犯罪をすることもなくなるからです。相手の気持ちを考えると、もう二度とそういうことをしないとします。また、しようとしていることを自分にされたら、どんな気持ちになるかを考えることも、大切だと思います。そうすることで、犯罪は少しずつ減ると思います。

三つ目は、だれかが止めることです。なぜなら、だれかが止めることで、その犯罪がなくなると思うからです。見て見ぬふりをするのが、一番悪いと思います。これは、学校などでもいえると思います。いじめは、最初の小さなけんかから、激しくなっていくいじめになると思います。けんかのときに、だれかがそのけんかを止めると、大きないじめにはつながらないと思います。また、いじめを見て見ぬふりをしたり、そのいじめを見て笑ったりすることは、いじめている人と同じだと思います。たしかに、いじめを止めることには勇気がいると思います。でも、その勇気を振り絞って止めることが大切だと思います。だれかが止めることで犯罪はなくなると思います。

このように、犯罪をなくす方法は、たくさんあると思います。犯罪をなくすためには、相手の気持ちや自分の行動が正しいかを考えて、犯罪をだれかが止めることが大切です。もし、中学校でいじめている人がいたら、ぼくがそのいじめを止めて、だれもが安心して過ごせる学校にしていきたいなと思いました。また、いじめられているひとを見たら、やさしく声をかけて、僕がその人の友達になってあげようと思いました。このようにして、犯罪や非行のない、明るい社会をつくっていこうと思いました。